

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

使用量はkg/10a

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
ドリップファーム1号	硝酸肥料	タキイ種苗	10	10	20		20		0	生育初期	2.5	7~8月 毎日	60	15.0	2.5	7~8月 毎日	60	15.0
ドリップファーム2号	硝酸肥料	タキイ種苗	13	13	8		25		0	生育中後期	2	9~6月 毎日	300	78.0	2	9~6月 毎日	37	9.6
フィッシュソリューブル	魚	自家醸酵液	0.2	0					100	食味	20L	9~6月 毎日	300	0.0	20L	9~6月 毎日	37	0.0
ニガリ	海水								100	ミネラル	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
黒糖	サトウキビ	自家醸酵液							100	ミネラル	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
カルシウム88	貝化石Ca	フロサキシード							100	ミネラル	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
グリーントップ	海水 Mg	馬居化成							100	ミネラル	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
プロリン	ゼラチン	サンセイ	5	0	3		2		100	アミノ酸	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
シイタケパウダー	シイタケ	自家							100	アミノ酸	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
ケルパック	海藻	ロイヤルレグスター							100	アミノ酸	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
トウゲン	各種総合酵素	酵素の世界社							100	健康保全	少量	9~6月 毎日	300	0.0	少量	9~6月 毎日	37	0.0
米酢	米酢 500倍									殺菌	500倍	7~7月 週1回	52	0.0	500倍	7~7月 週1回	9	0.0

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	0	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量		
実績使用量	24.6	

\*節減対象農薬

節減対象農薬	実績回数	地域の慣行防除	削減
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤			
殺菌剤			
その他薬剤			
合計	8		

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	アルパリン粒剤	ジノテフラン	アグロネショウ	アブラムシ類・コナジラミ類		1g/株	定植前	1	1		1g/株	定植前	1	1	1	5
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	住友化学	アブラムシ類・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏	3	3	2000倍	300L	8/13	1	1	3	4
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・プロフェジシ	日本農業	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	300L	8/13	1	2	3	3,3
殺菌	ベネビアOD	シアントラニリプロール	丸和バイオケミカル	ハモグリバエ類・コナジラミ類	2000倍	100~300L	秋春	3	3	2000倍	300L	8/21	1	1	3	3
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・プロフェジシ	日本農業	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	300L	8/21	1	2	3	3,3
殺虫	ノーモルト乳剤	テフルベンズロン	日本農業	ハスモンヨトウ・コナジラミ類	2000倍	100~300L	秋春	2	2	2000倍	300L	9/20	1	1	2	2
殺菌	ボトキラー水和剤	バチルス スズベチリス		うどんこ病・灰色かび病			11~3月		0						-	-

備考:

独自の栽培方法です。一般の栽培には当てはまりません。10aの成分計算は一般とは大きく異なります。（一般の栽培と比べ6倍くらいの反当りの栽培本数です。）  
IPM総合防除方式をとり、殺虫剤を減らしています。防虫網や、ラノーテープ、忌避剤を使用し、又、200台の通風機を使用して、外からの虫の侵入を防いでいます。  
11月~2、3月期はボトキラー(バチルス菌)をダクト内に散布するのみとなります。

実績は 2024/10/7 現在。24.6kg 8回

栽培期間通して、化成肥料の化成窒素量 93kg、  
農薬の計画回数 殺虫 35回、殺菌15回 合計50回

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	収穫	収穫
2月	収穫	収穫
3月	収穫	収穫
4月	収穫	
5月	収穫	
6月	収穫	
7月	耕起、防除、施肥	耕起
8月	定植・生育開花始まり、防除、施肥	定植 8/2~8/31
9月	生育開花、防除、施肥	生育開花
10月	収穫、防除、施肥	収穫
11月	収穫	収穫
12月	収穫	収穫

定植開始:	令和6年8月2日
終了:	令和6年8月31日
収穫開始:	令和6年10月上旬
終了:	令和7年7月